

支援ファイル

ひまわりノート

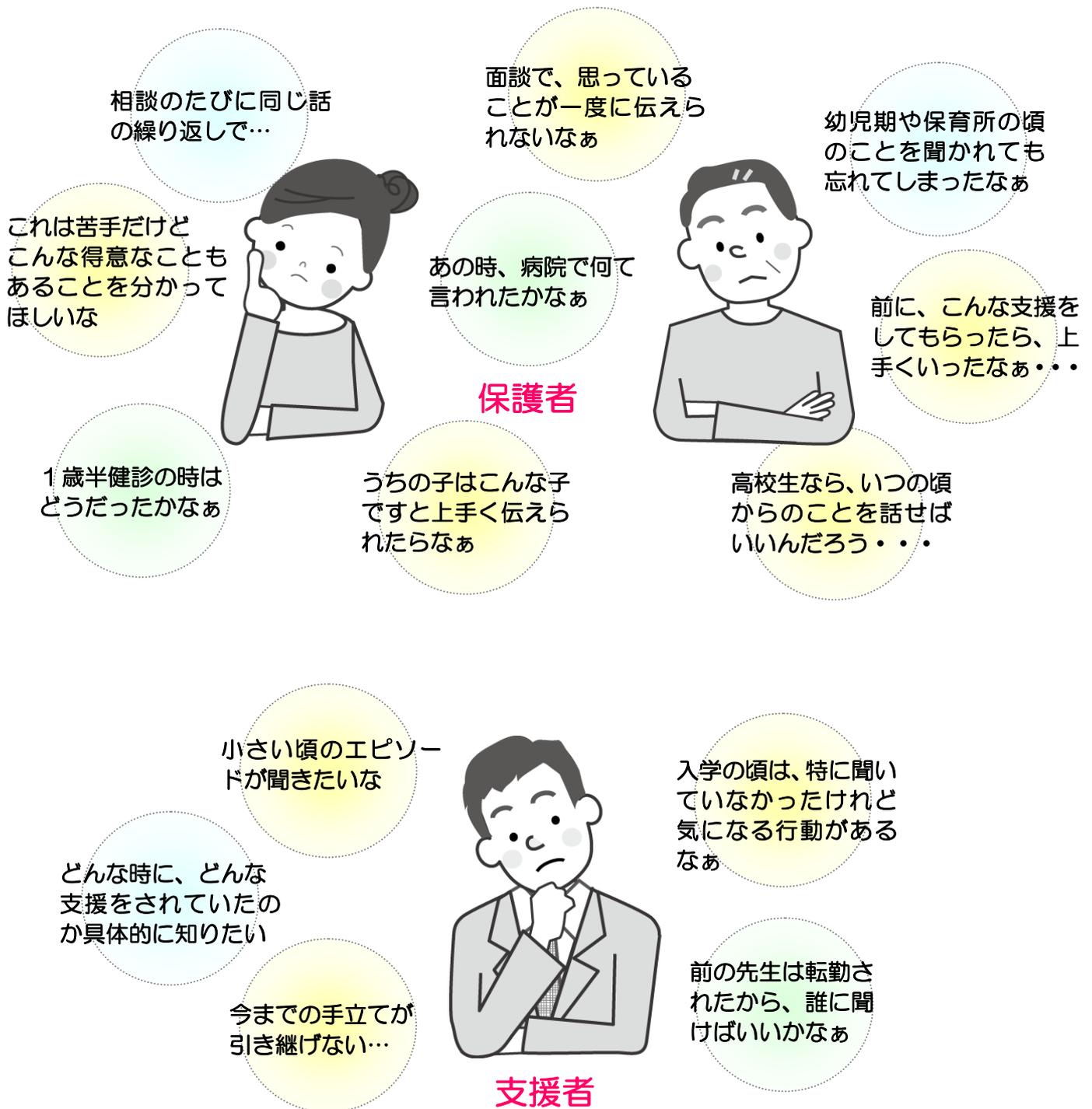
ガイドブック



「ひまわりノート」は、お子さんの成長に寄り添い、生涯にわたり一貫した支援がつづくことを願ってつくりました。保健・医療・教育・福祉など、生活に関わる多くの分野の人と連携し、より良い支援へつなげるための成長の記録です。

与謝野町

○子育て・支援の中での困り感



保育所から小学校、小学校から中学校・・・など、ライフステージが変わるごとに、お子さんに適した支援や情報が途切れてしまうことが多いようです。スムーズに、継続した支援が続くためには、関わる人たちの間で、適切な情報を共有することが必要です。

○情報を共有するために・・・

情報を共有する方法の一つに、支援ファイルがあります。支援ファイルとは、お子さんの生活・保健・医療・教育・福祉・労働等に関する情報を記録するものです。

お子さんの支援にたずさわる人に、お子さんの特性や支援方法などについて知ってもらうためのものです。



保護者が管理をされるものですが、家族や本人、その支援者（サポートする人）と一緒に作るファイルです。

○ファイルの中身は・・・

情報を記入する様式集と記入例集がセットになっています。

様式集には、例えば、次のようなものがあります。

プロフィール	お名前、家族構成、緊急の場合の連絡先 かかりつけの病院などを記入
生活の記録	健診時の様子、家庭、保育所、学校、就労先 などでの様子を記入
移行支援計画	進学（保育所から小学校、小学校から中学 校・・・など）や就労により、関わる人や環 境が大きく変わるときに記入
医療の記録	通院されている病院、疾病などの有無、服薬 の状況などを記録
アセスメントシート	保育所や学童、療育教室など、初めて預かり のサービスを利用されるときに記入
チェックシート 各種	3～5歳頃の発達状況について記入 進学などで一人暮らしを始められる前、就職 を控えた1年ほど前に、その準備として活用
就労体験の記録	学校の職業実習やアルバイトなど、就労体験 をされた時に記入



様式集

記録したい内容が多いところは、様式をコピーしてご利用ください。
与謝野町のホームページからもダウンロードできます。

記入例集

記入例は、ファイルの書き方、主旨を理解していただきやすいよう、
具体例を挙げ、文章で詳しく記入しています。

○ファイルを活用すると

- 本人や家族の思いを支援者に伝えやすい
- 支援者が本人の特性や支援方法を知ることができる
- 他分野の支援者が連携して支援をすることができる
- 新たな支援の手がかりとなる
- ファイルをきっかけに、コミュニケーションが活発になる

夏休みは、学童の預かりのサービスを利用して
います。具合が悪いときの子どもの症状などを、ファイルに記入して、そのコピーを担任の先生にお渡ししています。体調を判断するとき基準にもらっています。



家とは違う子どもの行動や様子を知ることができます。学校や療育教室での手立ての中で、家でもできることは、少しずつ取り入れていきたいです。



医療的なアドバイスや、療育の視点からの支援方法は、教育分野で支援を考える時にも役立ちます。

ずっと前のことは、ファイルを見てもらっています。ファイルを見てもらうことで、病院や療育機関、学校などでの相談の時、今、伝えたいことが整理できるし、説明にかかる時間も短縮できます。

今までの先生がされていた支援方法を詳しく知ることができます。その支援の方法も続けながら、新たな手立ても取り入れています。

○いつからでも、何歳からでも使い始められます

- 成長の記録をつけようと思われるとき
- 子育てに不安や悩みを感じられるとき
- お友達とコミュニケーションがとりにくいと感じられるとき
- 支援が必要と思われるとき
- 家庭訪問や保護者懇談会、進路相談の時のメモ帳として
- 進学や就労について考えられるとき

家では普通に過ごしているのに、保育所でみんなと過ごす時は、いつもと様子が違うみたい。保育所の先生と相談しながら、記入を始めてみようかな。



来年は小学校に入学する。今まで保育所の先生や療育教室の先生にもらっていた手立てを、小学校の先生に伝えたいし、ファイルにまとめてみようかな。

小学校、中学校と、子育てにいろいろ悩んできた。今年から高校生だし、これから進学や就労のことも心配だし、今日から、分かるところから書き始めようかな。

「記録をつけてみようかな・・・」という気持ちになられた時から記入を始められるのが、お子さんやご家族にとって一番良いと思います。年齢や時期に関係なく、いつからでも書き始められるものです。また、書き方や書く量、他の様式や資料の差込みなど、個々でそれぞれ工夫していただけるものです。

お子さんごとに、オリジナルのファイルができあがります。

○みんなで作るファイルです

記入をする人は、保護者とお子さんの支援にたずさわる人たち（関係機関の方々）です。基本は、保護者が記入をされるものですが、記入ができない内容、例えば、保育所・学校での様子や医療情報等については、必要な時に、保護者から担当をされている方に記入の依頼をしていただきます。

ご家族が、「書いて欲しい」と思われる方に依頼をして頂くものです。お子さんの成長を応援する気持ちのある方であれば、専門性に関わらず、ご記入して頂けます。

記入を依頼されるとき

- 依頼書と同意書を兼ねた「支援ファイル記入のお願い」をご活用ください。記入例集の最終ページにあります。
- 様式や記入例などは、必要な枚数をコピーしてご利用ください。ホームページからもダウンロードできます。
- 支援者の方に記入を依頼されるとき、関連する部分の記入例なども一緒にコピーをしてお渡ししていただくと、支援者の方が書きやすいと思われます。

記入例は書き込む内容のヒントにしよう。



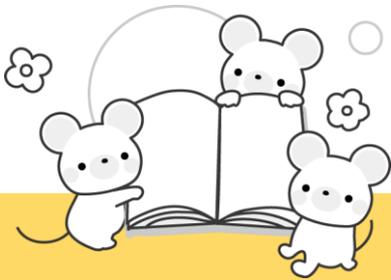
保育所での様子の記録は、2人の先生にお願いしよう。

必要なところをコピーして持って行けばいいのね。



○記入のポイント

- すべての欄に記入をする必要はありません。
- 伝えたい内容、将来に役立つと思われる内容を記入します。
- 今のことについて記入します。
- 月日を遡って記入をする場合は、大まかな内容を記入します。
- 書き方は自由です。箇条書きでも文章でも書きやすいのが1番。
- 様式にとらわれる必要はありません。
- 独自の様式や別の様式も活用しましょう。
- 写真やイラストを載せると伝わりやすいです。
- お子さんに変化がみられた時の様子を記録しておきましょう。
- 入学や進級、卒業、就職など、人生の節目に記録しましょう。



「いやなこと・苦手なこと」「好きなこと・得意なこと」を記入すると、支援の「手がかり」になります。



できる・できない・困ったことの記入もあると思いますが、それだけで終わらず、こういう支援をしたら改善した、上手くいったなど、手立ても記入しましょう。



ファイルは、様式集と記入例集からなります。記入例集にも、記入のポイントを載せていますので、ご参考に。

○記入のポイント

「こんなことが苦手であることが分かった」、「こんなことができるようになった」など、お子さんの変化に気づかれたとき、その時の様子や関わり方などについて記録しておきましょう。

保育所や幼稚園、療育教室で作成されている記録、学校で作成されている教育支援計画や、移行支援計画などのコピーをつづり、記入を省略することもできます。

お子さんの数だけ、オリジナルのファイルができ上がります。自分でつくられた様式や、他の様式などを活用して、使いやすいものに工夫できます。



日記をつけておられれば
必要な部分を抜き出して
記入をされるのもおすすめです ♡

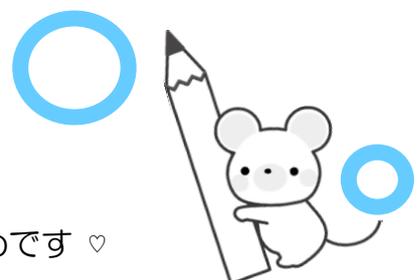
支援ファイルは、「評価するもの」「成績表」ではありません。また、完成させることが目的のものでもありません。このファイルを「きっかけ」に、支援の輪が広がることが目的です。



書きやすい方法が1番 ♡

母子手帳や乳児期の頃の記録があれば、まとめて綴じておいても良いです。

ホームページに支援ファイルの様式を載せている他の市町村も多くあります。書きたい項目、分かりやすい様式が見つければ、その部分を印刷して活用できます。



○支援ファイルはここにあります。

配布場所：与謝野町役場 子育て応援課

※町内の各幼稚園、保育所（園）、こども園、小中学校にも数冊ずつ置いてもらっています。在庫がない場合は、子育て応援課に連絡をお願いします。

○支援ファイルに関するお問い合わせ先

与謝野町役場 子育て応援課 0772-43-9024

ファイルの記録が多ければ、支援に役立つことも増えるかもしれませんが、ファイルは、ご家族や支援者が連携をとるための道具の一つに過ぎません。このファイルをきっかけに、対話がスムーズに進み、支援の輪が広がる、継続することが目的です。よって、ご家族のペースでご記入をしていただければよろしいです。

ファイルの活用により、お子さんが、特性に応じた一貫性のある支援を受けやすくなり、お子さんの生き生きとした生活や、積極的な社会参加の一助となることを願っています。

